



## —TOPICS—

➤ 国道334号知床横断道路が開通しました

➤ 国営総合農地防災事業「鶴居第2地区」の事業が完了しました

【編集・発行】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 広報官

平成26年5月30日発行



〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地 釧路地方合同庁舎

TEL 0154(24)7354 FAX 0154(24)7100

釧路開発建設部ホームページ: <http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/>

# 知床横断道路が5月2日開通しました

昨年11月7日から冬期通行止であった知床横断道路が、5月2日(金)より通行可能となりました。

釧路開発建設部では、春の観光シーズン前の開通を目指して、羅臼町側から知床峠頂上まで(13.4km)の除雪作業を本年3月15日より開始しました。

今年は暴風雪等による除雪作業の中止期間が例年より多く、作業の完了までに多大な時間を要したこともあり、大型連休後半前の開通となりました。

当日はあいにくの小雨模様でしたが、午前10時のゲートオープンとともに約30台の車が知床峠を目指しました。

開通当日の様子



## ～知床横断道路が開通するまで～

3月からの除雪作業の様子は釧路開発建設部HPからもご覧になれます。 <http://www.ks.hkd.mlit.go.jp/road/shiretoko/index.html>

①雪割り除雪



何十台もの重機が、数メートルにも降り積もった雪をかき分けながら進みます。

②人力による雪庇処理、斜面除雪

※雪庇(せっぴ): 風が一方方向に吹き、風下方向にできる雪の塊



命綱をつけた作業員が、斜面にできた雪庇を取り除いていく作業は、まさに命がけです。

③積雪、雪庇、雪崩調査



雪崩の危険性がないか等、目視による安全点検を行います。

④開通準備



冬の間外しておいたガードケーブル等の道路付属物を設置します。

# 知床横断道路について

知床横断道路(通称)は、北海道の最東北端に位置する世界自然遺産「知床半島」の中央を横断する一般国道で、延長27.3kmの景観豊かなパノラマロードです。

夏季には知床の大自然が織りなす雄大な景観を求め毎年多くの観光客が訪れます。

知床峠は道内の国道で唯一冬期間閉鎖される峠であり、その厳しい自然条件から、毎年11月から4月の期間は冬期全面通行止めとなります。



【知床横断道路概要図】



## 知床横断道路・夏



【知床峠】



【見返り峠】



【翔雲橋】

## 知床横断道路・冬



【路面凍結状況】



【雪崩発生状況】



【吹雪の様子】

# 国営農地防災事業鶴居第2地区 事業が完了しました

「鶴居第2地区」は泥炭地特有の現象である地盤沈下により、排水機能が著しく低下し、たん水や過湿被害が増大するようになりました。

そのため、これら排水路や農地の機能回復を行うことを目的に、平成18年度に着工、排水路の改修や暗渠排水等の整備を行い、平成25年度をもって事業が完了いたしました。

当地区は、釧路湿原国立公園に隣接する区域であることから、沈砂池を初めとする土砂流出対策により湿原への土砂流入の抑制を図り、国の特別天然記念物のタンチョウの生息状況に応じて、施工時期を調整するなど、自然環境にも配慮して工事を実施しました。

本事業により整備された農地が十分に活用され、安定した飼料生産により、地域の酪農がますます発展することが期待されます。



## 整備前

農用地や農業用排水路の機能が低下し、牧草生産力の低下や農作業機械の作業効率が低下。



【農地のたん水被害】



【農地の地盤沈下】



【農地の排水不良】

## 整備後

従前の機能を回復することで、地域農業の経営を安定させ、国土の保全に寄与するほか、国民に対し安全・安心な食料の安定供給が持続されます。



【整備済圃場】

### 【事業効果】

- 牧草収量の回復
- 圃場作業能率の回復
- 粗飼料自給率の向上
- 牛乳・乳製品の安定生産
- 釧路湿原と農業の共生



「安全・安心な食料の持続的な安定供給」及び  
国土の保全に寄与